

12 事業名：りんご白紋羽病対策検証事業

要約

- ・安曇野市のりんご白紋羽病の発生状況の実態を明らかにするためにアンケート調査を実施した。その結果、65%の生産者が白紋羽病の被害を受けたことがあり、また、被害を受けたことがある生産者の内、被害面積が拡大しているという生産者は57%となり、深刻な課題となっていることが分かった。また、防除を推進するためには、より効果の高い防除方法の推進や防除の労力・費用の低減が必要とされていることが分かった。
- ・市再生協としては温水処理機の活用を図るため、消耗品である点滴チューブの半額補助を行うことになった。今後は、現時点の技術でできる、より効果的な防除が行われるように誘導していく必要がある。

担当者：安曇野市農林部農政課生産振興担当 横山、松本農業改良普及センター 森

1. 課題設定の背景と目的

安曇野市ではりんご白紋羽病が恒常的に発生し、大きな問題となっている。そこで、被害の規模や現場で行われている防除の実態を明らかにし、防除対策の推進に資する。

2. 調査研究の内容

(1) 調査場所 平成26年7月～8月

(2) 調査方法

- ・りんご白紋羽病の発生状況やどのような対策を行っているのか、また防除を行う上で何が課題となっているのか等についてアンケート調査を行った。
- ・市内のりんご生産者を対象にJAあづみの指導員を通してアンケートの配布・回収を行った。

(3) 協力機関 JAあづみ

3. 結果の概要及び考察

(1) アンケート結果

① 回答数

三郷小倉から98件、三郷温・明盛から78件、堀金三田から25件、穂高有明から10件の回答を得た。

② 白紋羽病の発生状況について

- ・安曇野市全体では、全体の65%にあたる136件の生産者が「白紋羽病の被害を受けたことがある」と回答した。また、地域別に被害を受けたことがある生産者の割合をみると三郷小倉では75%、三郷温・明盛では59%、堀金三田では64%、穂高有明では10%と地域による偏りはあるものの、市内の過半数の生産者が白紋羽病による被害を受けたことがあることが分かった(図1)。
- ・白紋羽病の発生面積について生産者の達観による回答を集計したところ、面積について回答のあったすべての地域で、白紋羽病の発生面積がその地域のりんご生産面積(平成25年データ)の5%前後となった(表1)。また、白紋羽病の発生面積が最初に発生した時に比べて「拡大している」と答えた生産者は57%、「縮小している」と答えた生産者は8%となり、被害面積の拡大が懸念される(図2)。

③ 白紋羽病への対応について

- ・防除など「なんらかの対応を行っている」という回答は白紋羽病が発生していると答えた回答者の内、73%であった(図3)。最も多く取り組まれている防除は、「フロンサイドSCによる防除」で60件、次いで「定植時の消毒」が51件、「温水処理」が8件であった。また、「その他の方法による防除」も多く現地では様々な防除が実践されていることが分かった(図4、表2)。また、防除の頻度については「1年に1回」が最も多く、次いで「定植時」となった(図5)。

④ 白紋羽病防除の課題

- ・防除の手ごたえについては、「効果を感じない」という回答が最も多く、回答があった内の44%、次いで「その他」が29%、「効果を感じる」が27%となった。「その他」としては、「防除を始めたばかりでわからない」や「しばらくは効果がある」、「場所によって効果がある」、「微

妙・なんともいえない」という意見が主であった（図6）。

- ・防除を行っていない方に理由を聞くと、「防除しても再発する」が最も多く34件、次いで「労力がかかる」が28件、「費用がかかる」が22件となり、複数の理由を挙げた回答者も多かった（図7）。

(2) 結果の活用

- ・平成26年10月24日のJAあづみ果樹指導員会でアンケート結果について情報交換を行った。また、再生協として、温水処理機の活用を進めるために、消耗品である点滴チューブ3本(129,600円)の半額補助を行うこととなった。

4. 成果の活用と今後の方向性

アンケート結果を生産者に公表して、生産者のりんご白紋羽病に対する意識の向上を図ると共に、効果的な防除が行われるように誘導していく必要がある。

図1 所有の圃場で白紋羽病による被害を受けたことがありますか？

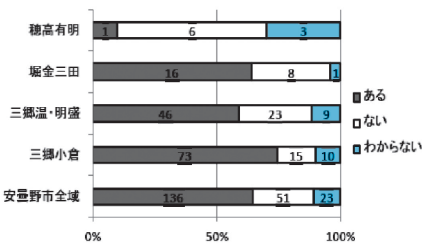


図2 白紋羽病の発生面積は最初に発生した時と比べて変化していますか？

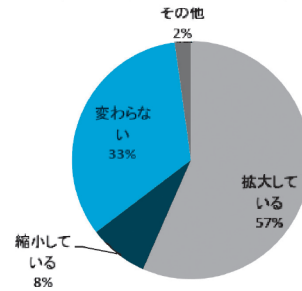


表1 白紋羽病発生面積がりんご栽培面積全体に占める割合（※平成25年データ）

地域	りんご栽培面積 (ha) ※	白紋羽病発生面積 (ha)	発生率
三郷小倉	119.0	5.15	4.33
三郷温・明盛	75.9	3.79	5.00
堀金三田	20.5	1.37	6.69
合計	215.4	10.31	4.79

図3 白紋羽病に対して防除などを行っているか

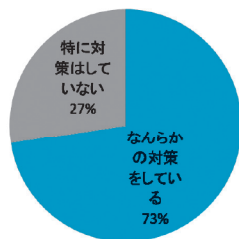


図4 実施されている予防や対策があれば教えてください(複数回答可)

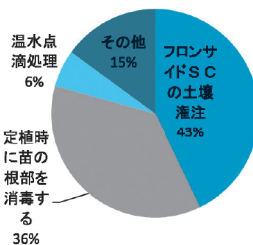


図5 白紋羽病の防除はどのくらいの頻度で実施していますか？

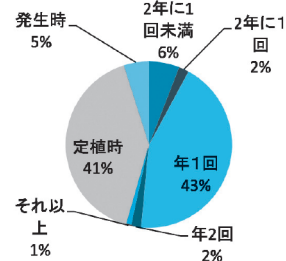


表2 図4の「その他」として回答のあったもの

微生物資材の利用、トップジンM、穴掘り・深耕、土の入れ替え、火をたく、クワロピクリン消毒、木酢液、野ブキとイネ科の草生、など

図6 防除の手ごたえを教えてください

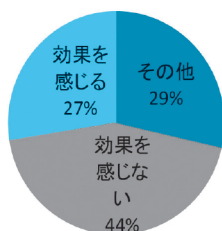


図7 防除を行っていない理由(複数回答可)

